

シンポジウム「日本語の将来に向けて ― ことばの教育はいかにあるべきか」

- 1 主 催 日本学術会議言語・文学委員会、立教大学
- 2 日 時 平成19年7月21日（土） 13：30—18：00
- 3 会 場 立教大学 池袋キャンパス 7102教室※（7号館1階）
（※ 会場が太刀川記念会館多目的ホールから変更になりました。）
- 4 プログラム
 - 開会の挨拶 今西 裕一郎 （九州大学教授、日本学術会議第一部会員、言語・文学委員会委員長）
 - 総合司会 田口 紀子 （京都大学教授、日本学術会議第一部会員、言語・文学委員会副委員長）
 - 基調講演 佐藤 学 （東京大学教授、日本学術会議第一部副部長）

第1部 各専門分野からの現状報告と提言

- 報告者 内田 伸子 （お茶の水女子大学副学長、日本学術会議第一部会員）
「考える力を育むことばの教育」
- 身崎 壽 （北海道大学教授、日本学術会議連携会員）
「現代生活と古典文学 ―教養主義を超えて―」
- 鳥飼 玖美子（立教大学教授、日本学術会議連携会員）
「真のコミュニケーション能力を培うために
―母語と外国語を繋ぐ言語教育―」
- 柴田 翔 （東京大学名誉教授、日本学術会議連携会員）
「異文化への視き窓としての第2外国語
―日本語・日本文化の将来へ向けて―」
- 中村 桂子 （JT 生命誌研究館館長、日本学術会議連携会員）
「いのちを語る言葉を求めて」

第2部 総合的提言に向けての討論

- 司 会 高橋 義人 （京都大学教授、日本学術会議連携会員）
- 指定討論者 福井 直樹 （上智大学教授、日本学術会議連携会員）
長島 弘明 （東京大学教授、日本学術会議連携会員）